

ODC遺伝子の発現と腸上皮細胞の異形性に関する研究

その他（別言語等）の研究課題名	ODC gene overexpression and carcinogenesis of intestinal epithelial cells
研究代表者	馬場 忠雄, 辻川 知之
発行年	1998-03
URL	http://hdl.handle.net/10422/6597

ODC 遺伝子の発現と腸上皮細胞の異形性に関する研究

~~14202~~
07457594

平成7年度～平成9年度科学研究費補助金（基盤研究(B)(2)）研究成果報告書

平成10年3月

研究代表者 馬場 忠雄
(滋賀医科大学医学部教授)

滋賀医科大学附属図書館

は し が き

研究組織

研究代表者：馬場 忠雄（滋賀医科大学医学部教授）

研究分担者：辻川 知之（滋賀医科大学医学部助手）

研究経費

平成7年度 3,000千円

平成8年度 300千円

計 3,300千円

研究発表

(1) 学会誌等：該当なし

(2) 口頭発表

1. 辻川知之、消化器粘膜におけるポリアミン代謝一病態との関連性一、第82回日本消化器病学会総会、平成8年4月19日
2. Tsujikawa T、Characteristic of mucosal polyamine content at rectum in patients with ulcerative colitis, 1996 Tokyo International Symposium on Polyamines, Oct 23, 1996.

(3) 出版物：該当なし

研究成果

大腸癌組織の中のODC活性とプトレッシン濃度の高い症例が存在するが、これはODC遺伝子の変異によるものではなく、むしろODC蛋白の分解速度に関与している。

滋賀医科大学附属図書館



1997024255